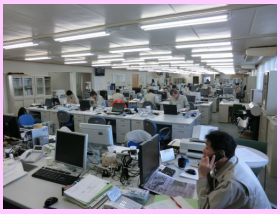
地域の復興に貢献する
石巻ブロック災害廃棄物処理業務
現場だより

鹿島・清水・西松・佐藤・飛島・竹中土木・若築・橋本・遠藤 特定共同企業体
石巻ブロック災害廃棄物処理業務JV事務所
〒986-0841 石巻市雲雀野町2-15-3
TEL 0225-23-7701 FAX 0225-23-7707

2012年1月20日発行 **第1号**（毎月1回発行）

「皆さんよろしくお願いします」（鹿島御児神社にて）



JV事務所の執務風景

JV事務所全景

石巻警察署による交通安全教育

4tコンテナバッグ積込作業

ご挨拶

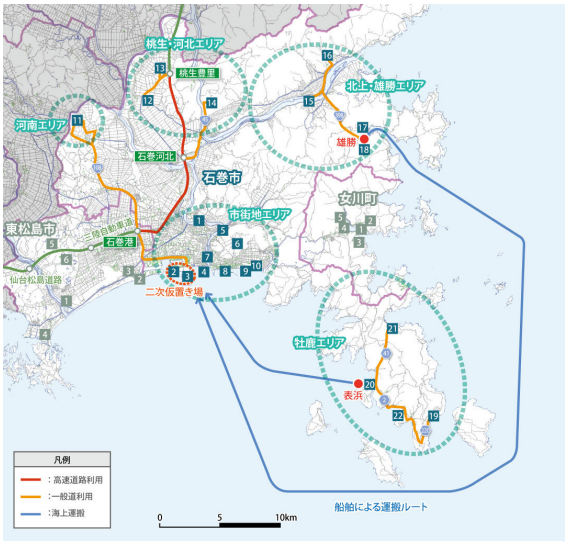
今回、宮城県から発注となった「災害廃棄物処理業務（石巻ブロック）」を、私ども鹿島建設・清水建設・西松建設・佐藤工業・飛島建設・竹中土木・若築建設・橋本店・遠藤興業の９社による特定共同企業体が担当させていただくことになりました。

現在、ＪＶ９社からの派遣社員のほとんどが着任し、昨年１２月に完成した現地事務所にて、総勢６２名で業務を行っております。

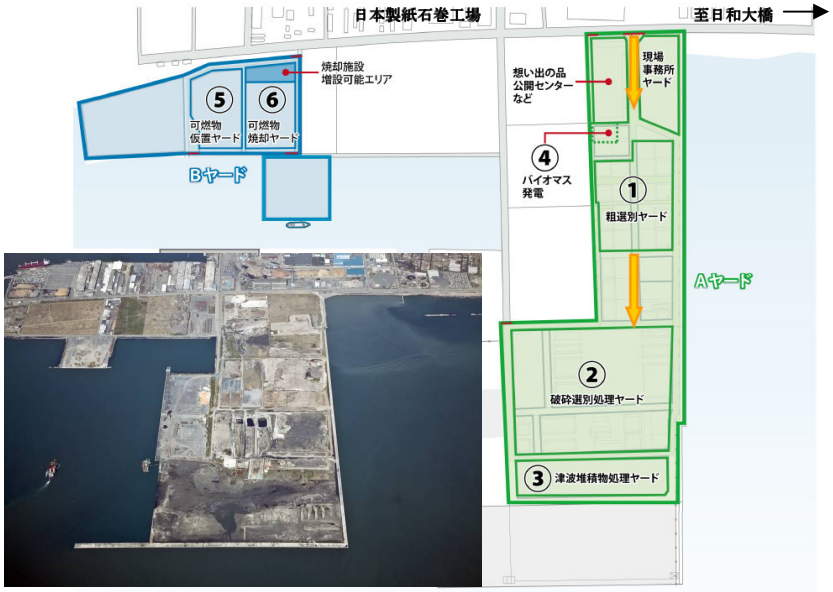
雲雀野の２次仮置き場内に山積みされた膨大な瓦礫を目の当たりにし、この何倍もの量のガレキを処理することの責任の重さを痛感しています。災害廃棄物処理という未知の分野へのチャレンジ精神を強く持って、地元の皆様の期待を背に、ＪＶ職員一同、石巻地区の復興のために全力を尽くす所存でございます。

東京ドーム１５個分という広大な敷地内に、国内最大規模の中間処理施設を設置して、石巻市で通常発生する廃棄物の１００年分以上という約６５０万トンの瓦礫を２年で処理することは想像を絶するスケールの仕事ですが、私自身、２０年以上石巻市に住んでいる地元の人間であり、この業務が石巻地区の復旧・復興に大きな意義を持っていることを誰よりも強く認識しております。一日も早い業務完了に向けて精一杯頑張りますので、地元の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

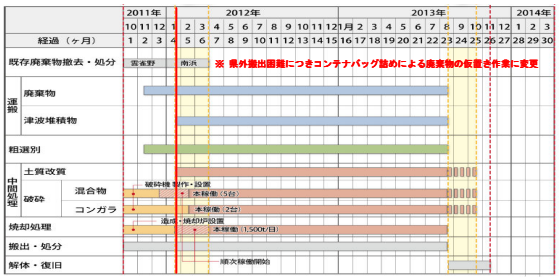
平成２４年１月吉日
石巻ブロック災害廃棄物処理業務ＪＶ事務所
所長　佐々木　正充



石巻市内の一次仮置き場からの廃棄物の運搬ルート



2次仮置き場の施設配置計画と航空写真



業務工程表（技術提案時）

—1月の予定—

- 1/5　仕事始め
- 1/7　環境省 南川事務次官現場視察
- 1/11　新年安全祈願
- 1/13　鹿島東北支店安全パトロール
- 1/18　宮城県土木部長現場視察
- 1/20　鹿島本支店定例会議
- 1/26　災害防止協議会

JVマークについて

「JV」の文字を石巻・牡鹿半島で獲れる魚をモチーフにして図案化したもの。復興にかける情熱を赤色で、石巻湾の豊かな海の色をブルーの文字で表現している。